



令和7年5月1日発行 小さな森こども園

新年度が始まり、1ヶ月が経ちました。初めのうちは新しい環境に戸惑いのある子もいましたが、次第に園生活に慣れ、先生やお友達と走り回ったり、虫を見つれたり、毎日楽しく過ごしています。
この時期、汗ばむ日、冷え込む日など、気温差が激しくなってきます。また、ゴールデンウィークに入り、疲れも出てくる時期です。毎日快適に過ごせるように、体調管理に気を付けていきたいですね！

5月の予定

- 1日(木) 身体測定
- 2日(金) こどもの日お祝い会
- 10日(土) 保護者会
- 13日(火) 避難訓練

5月生まれのおともだち

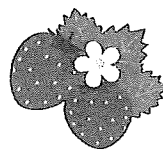
- ほし組・・・なし
- あり組・・・12日 27日
- かえる組・・・25日
- りす組・・・7日 22日
- うさぎ組・・・2日
- きりん組・・・なし

年長行事

- 1日(木) 交通安全街頭呼びかけ
- 7日(水) HIPHOP
- 9日(金) 英語で遊ぼう
- 21日(水) HIPHOP
- 22日(木) サッカー教室
- 23日(金) 英語で遊ぼう
- 29日(木) サッカー教室

おねがい

- 雨が降っても、外遊びやお散歩に行くので毎日カッパはカバンに入れてきてください。
- 風で帽子が飛ばされないように、帽子にゴムをつけて来てくださいね！
- お洋服に兄弟の名前や、お友達からもらった名前が書いてあり、お洗濯をした後、お子さんのところへお洋服が戻らないことがあります。お洋服には、本人の名前をマジックではっきり書いてください。
(前の子のお名前は消して下さいね！)



幼児期に出会っていくべき外遊び！

○現代人は「自然欠乏症候群」です。

現代人は、子どもも大人も自然と関わる機会が減っていて、そのせいだと感じないうちに「自然欠乏症候群」を起こしていると言えます。

自然の中には色々な匂い、音、色をはじめ、感覚器官を刺激するものがたくさんありますが、部屋の中でジューッとゲームをしているような暮らしではそれらの感覚器官が刺激されるような機会が極端に少なくなります。そうすると感覚器官の発達が促されないばかりか、集中力が育たなかったり、情緒が安定しないなどの状態がおこりがちです。

そもそも自然とともに生きてきた人類が、そこから離れてしまうことで、かつては獲得できていた力が、獲得できなくなっているわけです。これは人間としてあまりにももったいないこと。子どもも大人も自然に触れる時間が必要です。

長靴や靴に砂を入れて入れ物変わり！お山を大きくしようとしている子どもたち



どろんどろん触ってみよう！
おもしろい感触



○土や砂にはひとを癒す力があります。

自然の中で土や草にまみれてあそびに熱中する子どもたちは、足腰が鍛えられて運動能力が高くなるうえ、自然とお腹が空いてよく食べ、疲れと共に自然とよく寝るようになるという、よいリズムができていきます。

子どもたちを自然の中で自由におくと、誰かしら土に穴を掘りはじめたりします。目的なんてないのですが、ただ深く、長く掘っていくのが楽しい。いったいどこまで掘れるのか、チャレンジ精神が刺激されていくでしょう。何より土は可塑性が高く、思うように形を作る自由があります。それが子どもを深く満足させるのかもしれません。

○自然のなかでは育児が「サービス」や「消費」にならないのがいいです。

天候で環境も大きく変わり、「思い通りにならない」ままならなさがあります。そこにこそ、子どもがへこたれない力、状況に合わせて自分が変化していく力が育っていく余地があります。また、足腰が強くなる、サバイバル機能がつくといったからだの丈夫さは、自分に対する信頼、自己肯定感にもつながり、心身ともに健やかに育っていくことにつながります。

また、自然の中では大人のほうも、お弁当をこぼしてもあまり気にならないなど、育児がおおらかに解放されることがあります。

子どもと一緒に外で過ごせば、子どもと同様、健康的におなかの空き、睡眠も深くなるもの。大人の健康にもいいのです。すると結果的にここに余裕が生まれ、さらに育児にもいいという循環が。

自然の中では不便なことだらけですが、サービスを提供されてそれを消費するだけの生活では、子どもの自発性は育ちません。その点で、自然は優れた育児環境だといえるのではないのでしょうか。

お外でおやつ
おいしいね！！

